

第63回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

平成29年2月1日（水） 18:30～20:00

伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 33人

3 会議内容

(1) 「ことば蔵でプレミアムフライデー」(前回続き)

- ・毎月末の金曜日に消費活動を喚起する「プレミアムフライデー」が2月24日から開始。
- ・ことば蔵では偶数月の月末金曜日の夜間に現役世代をターゲットにしたイベントを実施。
- ・2月24日：カエボン部「趣味の本」
- ・4月28日：鉄道旅講座（ゴールデンウィーク企画）
- ・6月30日：まちゼミ（ボーナス企画）
- ・8月25日：ビジネス講座
- ・10月27日：アイデア募集中

(2) 「Sing a Song みんなで歌おう」(前回続き)

- ・図書整理日（第1木曜）に伊丹キッズハーモニー（15人程度）と参加者のみなで「となりのトトロ」、「さんぽ」、「手のひらを太陽に」、「数え歌」を歌う。
- ・今後も毎回テーマを変えて、継続して開催していきたい。

| | |-----| | 意 見 | |-----|

- ・歌詞をスクリーンに映し出すのはどうか。
- ・兵庫県民歌についても検討してほしい。

(3) 『兵庫県民歌』発表70周年記念企画」(前回続き)

- ・伊丹で晩年を過ごした野口猛さんが作詞し、昭和22年（1947）に発表された「兵庫県民歌」の存在を広く知ってもらうのが目的。
- ・野口さんの業績を紹介すると共に、市内コーラスグループの協力を得て、「兵庫県民歌」の演奏を5月3日（憲法記念日）に合わせて実施したい。

| | |-----| | 意 見 | |-----|

- ・5月の第1木曜はゴールデンウィークと重なり図書整理は実施しないため、6月の図書特別整理期間を利用すれば実現できる。
- ・他の都道府県民歌を紹介すれば幅が広がる。
- ・年末に紅白県民歌合戦と題して実施すれば盛り上がる。

(4) 「Scratch Day 2017 in Itami」(前回続き)

- ・毎年5月に世界各国で開かれる、子ども向けプログラミング言語「scratch」のお祭りを伊丹で開催したい。
- ・「宮前まつり」と同日開催として、お祭り気分プログラミングに触れてもらいたい。
- ・協力者が足りないため、市内高校や運営会議参加者に協力してもらいたい。
- ・セミナーエリア：「プログラミング教育必修化」などがテーマにした20分程度の講演。
- ・ブースエリア：5～15分程度の簡単な体験ブース（飛び出す絵本アプリなど）。
- ・プログラミング体験：1時間のプログラミング体験（要予約）
- ・みんなで水族館を作ろう：5～15分程度で海の生き物をバーチャル上で作る。

意見

- ・4つのエリアを同時並行で行うには、相当数のスタッフが必要。
- ・小学生の子どもを持つ保護者に協力を依頼できないか。

(5) 「耳で聴く図書」(新規提案)

- ・視覚障害者団体「ファーストウィンドの会」が中心となって、図書を通して視覚障害者について知ってもらうイベントを開催したい。
- ・視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のためのデジタル録音図書「DAISY」を使つての読書
- ・盲導犬を連れてきて、体験してもらうなど。

(6) 「読書介助犬」(前回続き)

- ・本や人前での音読が苦手な人に自信をつけてもらうのが目的。
- ・西宮市立図書館と武庫川女子大が行った読書介助犬イベントを参考にしたい。
- ・吃音サポートグループ「言友会」や言語聴覚士に協力を要請した。
- ・4月23日の「子ども読書の日」での実施に向け調整中。

(7) 「みんなのサマーセミナー」(新規提案)

- ・まちの人が先生になり授業する「みんなのサマーセミナー」の講師を募集。
- ・8月5日と6日の2日間にわたって尼崎双星高校で開催予定。
- ・可能であればことば蔵専用教室を作りたい。

意見

- ・ことば蔵でも出張開催するなどして連携してほしい。

(8) 「伊丹俳壇・歌壇の即興大喜利大会」(新規提案)

- ・テーマに沿った俳句・短歌をその場で作成し、参加者の投票で採点する。
- ・昨年開催の「俳句・短歌ライブ」を参考に企画したい。

4 次回の運営会議

平成29年3月1日(水) 18:30～

伊丹市立図書館ことば蔵1階交流フロア